

公益社団法人 日本医学物理学会

2021 年度 定時社員総会

日時： 2021 年 4 月 17 日(土) 18:00－19:30

場所： パシフィコ横浜 418 会議室

議案：

第1号議案 2020 年度事業報告承認の件

第2号議案 2020 年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減計算書)承認の件

第3号議案 その他

報告：

2021 年度事業計画に関する件

2021 年度予算に関する件

選挙規定改定の件

2020 年度委員会に関する件

以上

2020 年度事業報告

【公益目的事業】

1. 学術講演会の開催

第 119 回大会

会 期:2020 年 5 月 15 日(金)ー6 月 14 日(日)

会 場:Web 開催

大会長:有村 秀孝(九州大学)

内 容:口頭発表、CyPos、特別講演、教育講演、シンポジウム 等

参加登録人数:941 名(会員 835 名、招待 40 名、学生 66 名)

発表件数:一般演題 145(英語:90(内:IS は 35), 日本語:55)/33 セッション

第 120 回大会(アジアオセアニア医学物理学学会連合大会(AOCMP2020)と併催)

会 期:2020 年 12 月 3 日(木)ー 5 日(土)

会 場:Duangjitt Resort & Spa、プーケット(タイ)および Web の Hybrid 開催

大会長:福田 茂一(量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

内 容:一般演題発表(口頭・ポスター)、特別講演、教育講演(教育セミナーとして開催) 等

参加登録人数:全体 402 名(日本人 76 名)

発表件数:全体 216 件(日本人 58 件)

2. 学術出版物の刊行

「医学物理」(40 巻 1 号ー4 号)

Supplement 40-1 (第 119 回大会 報文集)

Supplement 40-2 (第 119 回大会 教育講演資料)

Supplement 40-3 (第 120 回大会 教育講演(教育セミナー)資料)

38 巻より電子版の発行に移行し会員への無償頒布は中止したため、冊子体の希望者へは有償頒布している。

“Radiological Physics and Technology”(Vol.13, No.1~No.4)

日本放射線技術学会と共同刊行

3,6,9,12 月発行

4. 委員会活動

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. 計測 | 6. QA/QC | 11. 大会支援 |
| 2. 教育 | 7. 広報 | 12. 学際交流 |
| 3. 編集 | 8. 用語 | 13. 医学物理士 |
| 4. 防護 | 9. 総務 | |
| 5. 国際交流 | 10. 倫理 | |

5. 論文賞の授与

土井賞

- | | | |
|---------------|------------------|---|
| 放射線治療・計測・防護分野 | : Yoshiro Ieko: | The impact of 4DCT-ventilation imaging-guided proton therapy on stereotactic body radiotherapy for lung cancer. |
| 診断物理分野 | : Yuya Onishi: | Investigation of Pulmonary Nodule Classification Using Multi-Scale Residual Network Enhanced with 3DGAN-Synthesized Volumes. |
| MRI・核医学分野 | : Kazuki Motegi: | Evaluation of bone metastasis burden as an imaging biomarker by quantitative single photon emission computed tomography/computed tomography for assessing prostate cancer with bone metastasis: a phantom and clinical study. |

MCA 賞 (Most Citation Award)

- | | | |
|--------------------|---|---|
| Haga Akihiro | : | Classification of early stage non-small cell lung cancers on computed tomographic images into histological types using radiomic features: interobserver delineation variability analysis. |
| Terunuma Toshiyuki | : | Novel real-time tumor-contouring method using deep learning to prevent mistracking in X-ray fluoroscopy. |
| Kajikawa Tomohiro | : | Automated prediction of dosimetric eligibility of patients with prostate cancer undergoing intensity-modulated radiation therapy using a convolutional neural network. |

優秀査読者賞

Mutsumi Tashiro
Chisako Muramatsu
Pei-Jan Lin
Takashi Hanada
Tsutomu Zeniya
Shunsuke Yonai

6. 対外活動

IOMP への参画 (National Member、委員参加)
AFOMP への参画 (National Member、委員参加)
日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会との
連携 (合同の第三者出力線量評価機関認定制度
準備委員会、ガイドライン委員推薦、情報交換等)
日本生体医工学会との連携 (相互に団体会員)
医学物理士認定機構 (構成団体、評議員)
放射線治療品質管理機構 (構成団体、理事)
日本ラジオロジー協会 (理事)
乳がん検診精度管理中央機構 (理事)
日本放射線研究連合への参画 (団体会員)
医療被ばく研究情報ネットワークへの参画

(団体会員)
アイソトープ・放射線研究発表会への参画
(発表会の際の運営委員)
日本医療画像システム工業会 (委員)
医用原子力技術研究振興財団 (委員)
量研機構放医研 (重粒子線がん治療装置等共同
利用運営委員会委員)
「国際医学物理の日」記念集会の企画・実施
医療機器センター「医療機器の研修・保守点検
指針案」レビュー者推薦対応
日本加速器学会との連携 (「Accelerator and
Medical Physics」(仮題)の共同執筆)

【その他事業】

1. サマーセミナー

新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期

2. 研究課題援助

下記のものに研究課題援助を行った。

研究代表者: 安達 勇人 (金沢大学附属病院 放射線部)

課題名: 深層学習を用いた治療用 cone-beam CT 画像における画質の改善と被ばくの低減

3. 研究成果報告奨励

新型コロナウイルス感染拡大の影響で未実施

【法人】

1. 社員総会・理事会の開催

定時社員総会を 2020 年 4 月 11 日 (土) に Web 開催した。

理事会を開催した。(2020/3/28, 4/11, 6/6, 9/12, 11/28, 2021/2/13) (6 回)

電子メールによる議決を行った。

2020 年 4 月 27 日 サマーセミナー2020 の 1 年延期について

2020 年 4 月 28 日 第 9 回韓日医学物理学学会学術合同大会(KJMP)の 1 年延期について

2020 年 6 月 22 日 医療用直線加速装置に関する放射化物廃棄状況調査研究について

2020 年 6 月 30 日 HP 改訂業務の外部委託について

2020 年 6 月 30 日 コバルト線源更新に関する QST への要望書について

2020 年 7 月 14 日 編集委員会の分科会設置について

2020 年 8 月 3 日 研究課題援助の継続の承認について

2020 年 8 月 6 日 第 120 回学術大会の AOCMP 併催について

2021 年 1 月 15 日 RTP 誌受賞者について

2. 名誉会員の推薦

福士政広氏、佐藤英一氏を推薦した。

3. 共催、協賛および後援

協賛

1. 第 58 回アイソトープ・放射線研究発表会(主催:日本アイソトープ協会)
2. 第 39 回日本医用画像工学会大会(主催:日本医用画像工学会)

後援

なし

以上

附属明細書

1. 該当事項なし

貸借対照表

2021年 2月28日現在

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,869,542	28,158,090	9,711,452
未収金	237,980	9,200	228,780
貯蔵品	14,000	0	14,000
前払費用	580,800	0	580,800
流動資産合計	38,702,322	28,167,290	10,535,032
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
基金拠出金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
固定資産合計	6,000,000	6,000,000	0
資産合計	44,702,322	34,167,290	10,535,032
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,424,489	2,168,071	△ 743,582
前受金	800,000	900,000	△ 100,000
前受会費	5,239,000	4,068,000	1,171,000
預り金	55,683	24,358	31,325
未払消費税等	145,200	169,100	△ 23,900
流動負債合計	7,664,372	7,329,529	334,843
負債合計	7,664,372	7,329,529	334,843
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
正味財産合計	37,037,950	26,837,761	10,200,189
負債及び正味財産合計	44,702,322	34,167,290	10,535,032

正味財産増減計算書

2020年 3月 1日から2021年 2月28日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	332,000	452,000	△ 120,000
受取会費	24,666,000	24,372,000	294,000
正会員会費	23,824,000	23,454,000	370,000
学生会員会費	412,000	488,000	△ 76,000
賛助会員会費	430,000	430,000	0
広告収益	132,000	129,600	2,400
バナー広告料	132,000	129,600	2,400
会誌掲載料	100,000	120,000	△ 20,000
会誌掲載料	100,000	120,000	△ 20,000
著作権収益	1,415,642	883,384	532,258
著作権収益	1,415,642	883,384	532,258
刊行物収益	70,127	58,590	11,537
刊行物収益	70,127	58,590	11,537
大会収益	4,033,000	11,470,000	△ 7,437,000
春季大会収益	1,569,000	2,322,000	△ 753,000
秋季大会収益	2,464,000	9,148,000	△ 6,684,000
講習会収益	0	2,603,000	△ 2,603,000
サマーセミナー	0	2,603,000	△ 2,603,000
寄付金	34,630	0	34,630
雑収益	272	221	51
雑収益	272	221	51
経常収益計	30,783,671	40,088,795	△ 9,305,124
(2) 経常費用			
事業費	15,823,191	26,503,451	△ 10,680,260
臨時雇用賃金	0	558,640	△ 558,640
会議費	34,466	2,210,940	△ 2,176,474
旅費交通費	2,366	1,646,310	△ 1,643,944
通信運搬費	164,916	103,396	61,520
消耗品費	141,870	176,422	△ 34,552
印刷製本費	4,129,876	6,110,073	△ 1,980,197
賃借料	0	3,350,215	△ 3,350,215
諸謝金	350,744	1,054,033	△ 703,289
支払負担金	2,680,536	1,573,740	1,106,796
支払助成金	500,000	1,300,000	△ 800,000
委託費	4,773,776	7,605,376	△ 2,831,600
システム維持費	2,925,258	760,120	2,165,138
雑費	119,383	54,186	65,197
管理費	4,760,291	8,383,598	△ 3,623,307
臨時雇用賃金	0	80,216	△ 80,216
会議費	216,110	1,464,612	△ 1,248,502
旅費交通費	2,000	2,004,421	△ 2,002,421
通信運搬費	121,362	482,024	△ 360,662
消耗品費	86,343	153,632	△ 67,289
印刷製本費	40,413	340,909	△ 300,496
委託費	4,089,410	3,609,580	479,830
租税公課	147,400	184,300	△ 36,900
雑費	57,253	63,904	△ 6,651
経常費用計	20,583,482	34,887,049	△ 14,303,567
評価損益等調整前当期経常増減額	10,200,189	5,201,746	4,998,443
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	10,200,189	5,201,746	4,998,443
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,200,189	5,201,746	4,998,443
一般正味財産期首残高	26,837,761	21,636,015	5,201,746
一般正味財産期末残高	37,037,950	26,837,761	10,200,189
II 正味財産期末残高	37,037,950	26,837,761	10,200,189

正味財産増減計算書内訳表

2020年 3月 1日から2021年 2月28日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	132,800	0	199,200	0	332,000
受取会費	9,866,400	0	14,799,600	0	24,666,000
正会員会費	9,529,600	0	14,294,400	0	23,824,000
学生会員会費	164,800	0	247,200	0	412,000
賛助会員会費	172,000	0	258,000	0	430,000
広告収益	132,000	0	0	0	132,000
バナー広告料	132,000	0	0	0	132,000
会誌掲載料	100,000	0	0	0	100,000
会誌掲載料	100,000	0	0	0	100,000
著作権収益	1,415,642	0	0	0	1,415,642
著作権収益	1,415,642	0	0	0	1,415,642
刊行物収益	70,127	0	0	0	70,127
刊行物収益	70,127	0	0	0	70,127
大会収益	4,033,000	0	0	0	4,033,000
春季大会収益	1,569,000	0	0	0	1,569,000
秋季大会収益	2,464,000	0	0	0	2,464,000
寄付金	34,630	0	0	0	34,630
雑収益	0	0	272	0	272
雑収益	0	0	272	0	272
経常収益計	15,784,599	0	14,999,072	0	30,783,671
(2) 経常費用					
事業費	15,323,191	500,000	0	0	15,823,191
会議費	34,466	0	0	0	34,466
旅費交通費	2,366	0	0	0	2,366
通信運搬費	164,916	0	0	0	164,916
消耗品費	141,870	0	0	0	141,870
印刷製本費	4,129,876	0	0	0	4,129,876
諸謝金	350,744	0	0	0	350,744
支払負担金	2,680,536	0	0	0	2,680,536
支払助成金	0	500,000	0	0	500,000
委託費	4,773,776	0	0	0	4,773,776
システム維持費	2,925,258	0	0	0	2,925,258
雑費	119,383	0	0	0	119,383
管理費	0	0	4,760,291	0	4,760,291
会議費	0	0	216,110	0	216,110
旅費交通費	0	0	2,000	0	2,000
通信運搬費	0	0	121,362	0	121,362
消耗品費	0	0	86,343	0	86,343
印刷製本費	0	0	40,413	0	40,413
委託費	0	0	4,089,410	0	4,089,410
租税公課	0	0	147,400	0	147,400
雑費	0	0	57,253	0	57,253
経常費用計	15,323,191	500,000	4,760,291	0	20,583,482
評価損益等調整前当期経常増減額	461,408	△ 500,000	10,238,781	0	10,200,189
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	461,408	△ 500,000	10,238,781	0	10,200,189
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	461,408	△ 500,000	10,238,781	0	10,200,189
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	461,408	△ 500,000	10,238,781	0	10,200,189
一般正味財産期首残高	3,461,298	△ 1,031,819	24,408,282	0	26,837,761
一般正味財産期末残高	3,922,706	△ 1,531,819	34,647,063	0	37,037,950
II 正味財産期末残高	3,922,706	△ 1,531,819	34,647,063	0	37,037,950

予算対比正味財産増減計算書

2020年 3月 1日から2021年 2月28日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	480,000	332,000	148,000
受取会費	25,430,000	24,666,000	764,000
正会員会費	24,460,000	23,824,000	636,000
学生会員会費	540,000	412,000	128,000
賛助会員会費	430,000	430,000	0
広告収益	130,000	132,000	△ 2,000
バナー広告料	130,000	132,000	△ 2,000
会誌掲載料	130,000	100,000	30,000
会誌掲載料	130,000	100,000	30,000
著作権収益	690,000	1,415,642	△ 725,642
著作権収益	690,000	1,415,642	△ 725,642
刊行物収益	50,000	70,127	△ 20,127
刊行物収益	50,000	70,127	△ 20,127
大会収益	3,300,000	4,033,000	△ 733,000
春季大会収益	2,300,000	1,569,000	731,000
秋季大会収益	1,000,000	2,464,000	△ 1,464,000
講習会収益	2,600,000	0	2,600,000
サマーセミナー	2,600,000	0	2,600,000
寄付金	0	34,630	△ 34,630
雑収益	1,000	272	728
雑収益	1,000	272	728
経常収益計	32,811,000	30,783,671	2,027,329
(2) 経常費用			
事業費	21,613,220	15,823,191	5,790,029
臨時雇用賃金	200,000	0	200,000
会議費	205,000	34,466	170,534
旅費交通費	1,940,000	2,366	1,937,634
通信運搬費	85,000	164,916	△ 79,916
消耗品費	150,000	141,870	8,130
印刷製本費	6,030,000	4,129,876	1,900,124
賃借料	2,000,000	0	2,000,000
諸謝金	520,000	350,744	169,256
支払負担金	1,420,000	2,680,536	△ 1,260,536
支払助成金	2,050,000	500,000	1,550,000
委託費	4,109,500	4,773,776	△ 664,276
システム維持費	2,788,720	2,925,258	△ 136,538
雑費	115,000	119,383	△ 4,383
管理費	7,750,000	4,760,291	2,989,709
臨時雇用賃金	100,000	0	100,000
会議費	1,300,000	216,110	1,083,890
旅費交通費	1,900,000	2,000	1,898,000
通信運搬費	100,000	121,362	△ 21,362
消耗品費	200,000	86,343	113,657
印刷製本費	400,000	40,413	359,587
委託費	3,600,000	4,089,410	△ 489,410
租税公課	50,000	147,400	△ 97,400
雑費	100,000	57,253	42,747
経常費用計	29,363,220	20,583,482	8,779,738
評価損益等調整前当期経常増減額	3,447,780	10,200,189	△ 6,752,409
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,447,780	10,200,189	△ 6,752,409
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,447,780	10,200,189	△ 6,752,409
一般正味財産期首残高	26,837,761	26,837,761	0
一般正味財産期末残高	30,285,541	37,037,950	△ 6,752,409
II 正味財産期末残高	30,285,541	37,037,950	△ 6,752,409

財産目録

2021年 2月28日現在

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	普通預金		23,134,501
		みずほ銀行高田馬場支店	運転資金として	19,424,454
		三菱UFJ銀行高田馬場支店	運転資金として	3,710,047
		郵便振替		14,735,041
		郵便振替019店998	運転資金として	12,513,689
		郵便振替019店001	運転資金として	2,221,352
	未収金	(公社)日本放射線技術学会	論文賞負担金	237,980
	貯蔵品	(株)国際文献社内	図書カード	14,000
	前払費用	創文印刷(株)	第121回学術大会HP作成費	580,800
流動資産合計				38,702,322
(固定資産)				
基本財産				5,000,000
	基本財産	三菱UFJ銀行高田馬場支店	公益目的保有財産であり、運用益は公益目的事業の財源として使用している	5,000,000
特定資産				1,000,000
	基金拠出金	日本ラジオロジー協会	基金拠出金	1,000,000
固定資産合計				6,000,000
資産合計				44,702,322
(流動負債)				
	未払費用			1,424,489
		(株)国際文献社	当事業年度分の事業費、管理費	1,218,907
		論文賞	当事業年度分の事業費	120,000
		執筆料、印税	当事業年度分の事業費	85,582
	前受金		翌事業年度の大会収益	800,000
	前受会費			5,239,000
	正会員会費		翌事業年度以降の会費	5,109,000
	学生会員会費		翌事業年度以降の会費	64,000
	賛助会員会費		翌事業年度以降の会費	50,000
	入会金		翌事業年度以降の入会金	16,000
	預り金			55,683
	報酬		源泉税	4,478
	その他		物理教科書著作権使用料(VI)	51,205
	未払消費税等		当事業年度分の消費税	145,200
流動負債合計				7,664,372
負債合計				7,664,372
正味財産				37,037,950

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

①消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
基金拠出金	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	1,000,000	0	0	1,000,000
合 計	6,000,000	0	0	6,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産への充当額)	(うち一般正味財産への充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
特定資産				
基金拠出金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(0)
小 計	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(0)
合 計	6,000,000	(0)	(6,000,000)	(0)

附属明細書

特定資産について、財務諸表の注記 2. 特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

監 査 報 告 書

2021 年 3 月 23 日

公益社団法人 日本医学物理学会

代表理事 福田 茂一 殿

公益社団法人 日本医学物理学会

監事 柴 武一

監事 赤羽 恵一

監事は、2020 年 3 月 1 日から 2021 年 2 月 28 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財務諸表に対する注記及びその附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2021 年度 事業計画

【公益目的事業】

1. 学術講演会の開催

第 121 回大会

会 期:2021 年 4 月 15 日(木)－18 日(日)

会 場:パシフィコ横浜 会議センターおよびウェブ開催

大会長:兼松 伸幸(量子科学技術研究開発機構 放医研)

内 容:口頭発表、CyPos、特別講演、教育講演、シンポジウム、機器展示 等

第 122 回大会(第 9 回韓日医学物理学会学術合同大会)

会 期:2021 年 9 月 9 日(木)－ 11 日(土)

会 場:Landing Hall, Shinhwa World, Jeju City, Korea(韓国・済州)

大会長:福田 茂一(量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

内 容:一般演題発表(口頭・ポスター)、特別講演、教育講演 等

2. 市民公開講座

Web にて開催予定

3. 学術出版物の刊行

「医学物理」(41 巻 1 号－4 号)

Supplement 41-1 (第 121 回大会 報文集)

Supplement 41-2 (第 121 回大会 教育講演資料)

必要に応じて、ガイドライン等を Supplement として刊行

38 巻より電子版の発行に移行しており、冊子体を希望する会員へは有償頒布する。

“Radiological Physics and Technology”(Vol.14, No.1～No.4)

日本放射線技術学会と共同刊行

3,6,9,12 月発行予定

4. 委員会活動

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 計測 | 6. QA/QC | 11. 大会支援 |
| 2. 教育 | 7. 広報 | 12. 学際交流 |
| 3. 編集 | 8. 用語 | 13. 医学物理士 |
| 4. 放射線防護 | 9. 総務 | |
| 5. 国際交流 | 10. 倫理 | |

5. 論文賞の授与

土井賞

MCA 賞 (Most Citation Award)

優秀査読者賞

6. 対外活動

IOMP への参画 (National Member、委員参加)

AFOMP への参画 (National Member、委員参加)

日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会との
連携 (合同の第三者出力線量評価機関認定制度
準備委員会、情報交換等)

日本生体医工学会との連携 (相互に団体会員)

医学物理士認定機構 (構成団体、評議員)

放射線治療品質管理機構 (構成団体、理事)

日本ラジオロジー協会 (理事)

乳がん検診精度管理中央機構 (理事)

日本放射線研究連合への参画 (団体会員)

医療被ばく研究情報ネットワークへの参画
(団体会員)

アイソトープ・放射線研究発表会への参画
(発表会の際の運営委員)

日本医療画像システム工業会 (委員)

医用原子力技術研究振興財団 (委員)

量研機構放医研 (重粒子線がん治療装置等共同
利用運営委員会委員)

「国際医学物理の日」記念集会の企画・実施

日本加速器学会との連携 (「Accelerator and
Medical Physics」(仮題)の共同執筆)

【その他事業】

1. サマーセミナー

会 期: 2021 年 8 月末頃予定

会 場: (福島・リステル猪苗代)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して実施の可否・方式を決定する。

2. 研究課題援助

研究課題援助について公募し、申請された研究課題に対して、選考の上援助する。

3. 研究成果報告奨励

国際会議における研究成果報告に対して、選考の上補助する予定であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して実施の可否を決定する。

【法人】

1. 代議員選挙の実施と理事及び監事候補選挙の実施と選出

2. 社員総会・理事会の開催

定時社員総会をパシフィコ横浜において 2021 年 4 月 17 日(土)に開催する。

予定議案:第 1 号議案 2020 年度事業報告承認の件

第 2 号議案 2021 年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減計算書)承認の件

第 3 号議案 その他

報告事項:2021 年度事業計画に関する件

2021 年度予算に関する件

選挙規定改定について

理事会を開催する(6回)。

3. 名誉会員の推薦

4. 共催および後援

他学会・団体の開催する研究会・セミナー等、会員へ裨益するものにつき、依頼により共催または後援する。

以上

報告事項：2021年度予算に関する件

収支予算書

2021年 3月 1日から2022年 2月28日まで

公益社団法人日本医学物理学会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
会費	9,707,200	0	14,560,800	0	24,268,000	25,910,000	△ 1,642,000
受取入会金	132,800	0	199,200	0	332,000	480,000	△ 148,000
正会員会費	9,220,000	0	13,830,000	0	23,050,000	24,460,000	△ 1,410,000
学生会員会費	182,400	0	273,600	0	456,000	540,000	△ 84,000
賛助会員会費	172,000	0	258,000	0	430,000	430,000	0
刊行物	1,592,000	0	0	0	1,592,000	1,000,000	592,000
広告収益	132,000	0	0	0	132,000	130,000	2,000
会誌掲載料	100,000	0	0	0	100,000	130,000	△ 30,000
著作権収益	1,310,000	0	0	0	1,310,000	690,000	620,000
刊行物収益	50,000	0	0	0	50,000	50,000	0
大会・講習会収益	3,300,000	2,600,000	0	0	5,900,000	5,900,000	0
春季大会収益	2,300,000	0	0	0	2,300,000	2,300,000	0
秋季大会収益	1,000,000	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0
サマーセミナー	0	2,600,000	0	0	2,600,000	2,600,000	0
雑収益	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	14,599,200	2,600,000	14,561,800	0	31,761,000	32,811,000	△ 1,050,000
(2) 経常費用							
事業費	17,845,000	3,315,000	0	0	21,160,000	21,613,220	△ 453,220
臨時雇賃金	220,000	0	0	0	220,000	200,000	20,000
会議費	756,000	50,000	0	0	806,000	205,000	601,000
旅費交通費	1,710,000	150,000	0	0	1,860,000	1,940,000	△ 80,000
通信運搬費	23,000	10,000	0	0	33,000	85,000	△ 52,000
消耗品費	159,000	0	0	0	159,000	150,000	9,000
印刷製本費	4,810,000	0	0	0	4,810,000	6,030,000	△ 1,220,000
賃借料	100,000	1,900,000	0	0	2,000,000	2,000,000	0
諸謝金	630,000	150,000	0	0	780,000	520,000	260,000
支払助成金	500,000	750,000	0	0	1,250,000	2,050,000	△ 800,000
支払負担金	2,840,000	0	0	0	2,840,000	1,420,000	1,420,000
委託費	4,750,000	300,000	0	0	5,050,000	4,109,500	940,500
システム維持費	1,300,000	0	0	0	1,300,000	2,788,720	△ 1,488,720
雑費	47,000	5,000	0	0	52,000	115,000	△ 63,000
管理費	0	0	6,981,100	0	6,981,100	7,750,000	△ 768,900
臨時雇賃金	0	0	50,000	0	50,000	100,000	△ 50,000
会議費	0	0	1,530,000	0	1,530,000	1,300,000	230,000
旅費交通費	0	0	630,000	0	630,000	1,900,000	△ 1,270,000
通信運搬費	0	0	500,000	0	500,000	100,000	400,000
消耗品費	0	0	100,000	0	100,000	200,000	△ 100,000
印刷費	0	0	350,000	0	350,000	400,000	△ 50,000
委託費	0	0	3,720,000	0	3,720,000	3,600,000	120,000
租税公課	0	0	1,100	0	1,100	50,000	△ 48,900
雑費	0	0	100,000	0	100,000	100,000	0
経常費用計	17,845,000	3,315,000	6,981,100	0	28,141,100	29,363,220	△ 1,222,120
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,245,800	△ 715,000	7,580,700	0	3,619,900	3,447,780	172,120
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,245,800	△ 715,000	7,580,700	0	3,619,900	3,447,780	172,120
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額					3,619,900	3,447,780	172,120
一般正味財産期首残高					30,285,541	26,837,761	3,447,780
一般正味財産期末残高					33,905,441	30,285,541	3,619,900
II 正味財産期末残高					33,905,441	30,285,541	3,619,900

代議員選挙細則

平成 23(2011)年 11 月 12 日 理事会制定
平成 25(2013)年 3 月 2 日 理事会改定
平成 28(2016)年 2 月 12 日 理事会改定
平成30(2018)年12月1日 理事会改定
令和3年(2021)年2月13日 理事会改定

(総則)

第 1 条 公益社団法人日本医学物理学会（以下「本会」という）の代議員の選挙に関しては、定款による以外は、この細則による。

(選挙管理委員会)

第 2 条 代議員の選挙に必要な業務は、別に定める選挙管理委員会が行う。

(代議員の定数)

第 3 条 選挙管理委員長は、選挙の年の 7 月 1 日以降に選挙管理委員会を開催し、選挙の年の 7 月 1 日現在の正会員数の確認を行うとともに、選出する代議員数を確認する。

- 2 代議員数は、前項で確認された正会員数を 20 で除した数とし、端数は切り上げる。
- 3 選挙管理委員長は、正会員名簿等一式を作成する。

(代議員の資格)

第 4 条 代議員となりうる者は、正会員である者とする。

(立候補)

第 5 条 代議員選挙に立候補をする者は、期限内に選挙管理委員会に所定の様式により届け出なければならない。

(選挙)

第 6 条 代議員の選挙は、2 年に 1 度 10 月に実施する。

- 2 投票は、20 名不完全連記によるものとし、本会のホームページより電子的かつ無記名で行う。
- 3 最下位当選者に同数者が生じた場合は、最下位当選者同士で再投票により選出する選挙管理委員長によるくじで決定する。

(次期代議員の資格の確認並びに決定)

第 7 条 理事会は、当選した次期代議員の資格を確認する。

2 前項において問題がない場合には次期代議員として確認する。

3 決定した代議員は、速やかにホームページに氏名を公表するものとし、公表をもって代議員選挙の終了とする。

(補則)

第 8 条 この細則の改正は、理事会の決議により行われる。

理事・監事選挙細則

平成 23(2011)年 11 月 12 日 理事会制定

平成 25(2013)年 3 月 2 日 理事会改定

平成 28(2016)年 2 月 12 日 理事会改定

平成30(2018)年12月1日 理事会改定

令和3(2021)年2月13日 理事会改定

(総則)

第 1 条 公益社団法人日本医学物理学会（以下「本会」という）の理事及び監事の選挙に
関しては、定款による以外は、この細則による。

(選挙管理委員会)

第 2 条 理事及び監事の選挙に必要な業務は、別に定める選挙管理委員会が行う。

(理事及び監事の定数)

第 3 条 本会の理事及び監事の定数を以下のように定める。

(1) 理事 16 名

(2) 監事 2 名

(理事候補者及び監事候補者)

第 4 条 理事及び監事の選任に先立ち、理事候補者及び監事候補者を選出する。

(理事候補者選挙)

第 5 条 理事候補者のうち 12 名は、立候補した正会員から代議員の郵送投票により選出する。

2 理事候補者に立候補しようとする者は、選挙管理委員会の定める様式に従い、期限内に届け出なければならない。

3 理事候補者の選挙は 12 名不完全連記投票により行い、得票順に 12 名を選出する。

4 最下位当選者に得票の同数者が生じたことにより 12 名を超えた場合は、最下位当選者同士で再投票により選出する選挙管理委員長によるくじで決定する。

5 立候補者が 12 名以内の場合は、全員を理事候補者とする。

(投票によらない理事候補者の選出)

第 6 条 理事会は、本会の運営の継続性等の観点から理事候補者 4 名を代議員の投票によ

らず選出する。

- 2 前項により理事会が選出する理事候補者は、第 12 条 1 項 2 号に掲げる条件を満たすことを要しない。

(監事候補者選挙)

第 7 条 監事候補者は、立候補した正会員から代議員の郵送投票により選出する。

- 2 監事候補者に立候補しようとする者は、選挙管理委員会の定める様式に従い、期限内に届け出なければならない。
- 3 監事候補者の選挙は 2 名不完全連記投票により行い、得票順に 2 名を選出する。
- 4 最下位当選者に得票の同数者が生じたことにより 2 名を超えた場合は、最下位当選者同士で再投票により選出する選挙管理委員長によるくじで決定する。
- 5 立候補者が 2 名以内の場合は、全員を監事候補者とする。

(理事及び監事の選出)

第 8 条 理事及び監事は、それぞれ理事候補者及び監事候補者から総会の決議により選任する。

(理事・監事重複立候補の禁止)

第 9 条 理事と監事に重複して立候補してはならない。

(欠員の補充)

- 第 10 条 理事又は監事に欠員が生じたときは、理事候補者選挙の次点者から総会の決議により選出する。
- 2 次点者が複数の場合は、最下位当選者同士で再投票により選出する選挙管理委員長によるくじで決定する。
 - 3 次点者がいない場合は、正会員の中から理事会の推薦により総会の議決を経て補充者を決定する。

(就任時年齢、~~連続再任~~の制限)

第 11 条 理事及び監事は就任時 65 歳未満でなければならない。

~~—— 2 理事の連続再任は、3 期までとする。 ——~~

~~—— 3 監事の連続再任は、3 期までとする。 ——~~

(立候補の条件)

第 12 条 理事候補者及び監事候補者に立候補する正会員は、以下の各号をすべて満たさなければならない。

(1) 選挙の行われる年度の会費を納入していること。

(2) 別表に示す学会への貢献点の合計が過去 10 年以内で 5 点以上であること。

2 定款第 10 条 3 項により、理事会が推薦する補充者は、前項の各号の条件を満たさねばならない。

(結果の公表)

第 13 条 決定した理事及び監事は、速やかにホームページに氏名を公表するものとする。

(補則)

第 14 条 この細則の改正は、理事会の決議により行われる。

別表

役職等		貢献点
日本医学物理学会	学術大会長	6
同	理事または監事 (1 期につき)	4
同	評議員または代議員 (1 期につき)	2
同	委員長 (1 期につき)	4
同	委員 (1 期につき)	2

注 1) 理事と委員長の兼務は重複計上しない。

注 2) 委員会には、常設または ad hoc 委員会、学術大会開催のための実行委員会、プログラム委員会、選挙管理委員会などを含む。

注 3) 事業計画に記載の対外活動 (医学物理士認定機構、International Organization for Medical Physics など) の理事、委員などの貢献点は、別表の貢献点の 1/2 とする。RPT 編集委員なども準じて扱う。

注 4) 役職等に就任 (もしくは委嘱) の日から積算できる。

計測委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 歳藤利行

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	歳藤利行◎、福村明史、河内徹、川村慎二、小島徹、櫻井良憲、清水森人、藤田幸男、松浦妙子、矢田隆一、山田崇裕、山下航、森下雄一郎、石川正純、田辺悦章、小口宏、草野陽介、佐藤智春、長畑智政、大平新吾（敬称略）
今年度課題	1. 次の 7 つの分科会ごとに、課題の検討及び調査等を行う。（※） 標準計測法、線量標準、光子・電子、小線源、重荷電粒子、中性子、診断放射線 2. 必要に応じて、各標準計測法、ガイドライン等のアップデートを図る。 3. IAEA, ISO, IEC などにおける計測に係る国際動向の情報収集を行う。 ※「重荷電粒子計測に関わる文献、研究、動向調査」、「中性子捕捉療法のための簡易計測マニュアル作成に向けた情報収集」「標準計測法の世界の動向（AAPM, IAEA など）調査」「高エネルギー光子線標準による電離箱校正法に関する検討」「標準計測法 12 の改定（補遺）に向けた準備」「密封小線源の線量計測トレーサビリティの適用拡大」「透視装置の線量管理方法の整備」
委員会開催 履歴	7 月 17 日 於：Zoom を用いた Web 会議 出席 15 名 12 月 14 日 於：Zoom を用いた Web 会議 出席 15 名 その他 随時メール会議開催
総括 不足の場合は別紙付加可	上記課題について検討し、 ・医学物理学会機関誌「医学物理」の計測委員会企画に協力 ・第 121 回学術大会計測委員会企画の立案と準備 ・I-125 線源強度計測アンケート（日本放射線腫瘍学会小線源治療部会、前立腺シード研究会との共催） ・放射線治療部門における治療以外の被ばく量の実態調査に関する準備（JASTRO 研究班木藤先生と連携） ・「陽子線治療施設における水吸収線量計測の状況に関するアンケート」結果まとめ、公表 ・IAEA TRS 398 アップデート粒子線関係部分について、IAEA TRS398 改訂グループの兼松先生に協力し、レビュー を実施した。また、これらに加え、 ・獣医療におけるオルソボルテージ治療の線量計測に関する予備調査を開始した。

教育委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（西暦 2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 小澤 修一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	小澤修一◎、津藤真司、石原佳知、杉本聡、藪田和利、納富昭弘、福田茂一、沼崎穂高、宇都宮悟、小野薫、加藤貴弘、唐澤久美子、山本徹、古徳純一、舘岡邦彦、成田雄一郎、芳賀昭弘、宮部結城、角谷倫之、有村秀孝、和田真一コ
今年度課題	1. 医学物理サマーセミナー企画・開催 2. 学術大会教育講演企画・開催 3. 医学物教育のあり方検討 4. 海外の各団体の情報収集と会員への周知 5. IAEA RCA の E-learning コンテンツの審査 6. 医学物理誌上での編集委員会との共同企画の準備 7. データベース分科会（広報委員会、QA/QC 委員会との共同プロジェクト）
委員会開催 履歴	各タスクグループ内で随時メール会議・オンライン会議を実施。
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. サマーセミナー企画・開催検討（主担当：津藤） サマーセミナー2020 は 1 年延期とし、同内容・同講師で 2021 年 8 月 27 日 ～ 29 日に現地とウェブでのハイブリッド開催、もしくはウェブのみの開催で調整中 2. 学術大会教育講演企画・開催（主担当：石原） 119 回大会での医学物理教育コース交流会を開催。120 回・121 回学術大会の教育講演の企画・調整、2020 年 12 月 19 日（土）に日本医学物理学会教育セミナーをネット開催 3. 医学物教育のあり方検討（主担当：杉本） AFOMP からの Medical physics education in AFOMP region アンケートへの回答案作成 4. 海外の各団体の情報収集と会員への周知（主担当：藪田） ・学会 HP にて、教育委員会ガイドライン報告を 2020 年版へ更新 5. IAEA RCA の E-learning コンテンツの審査（担当：福田） 診断、核医学、治療の各分野の審査に委員を派遣 6. 医学物理誌上での編集委員会との共同企画の準備（担当：納富） 2020 年度は遠藤真広先生が連載記事ご執筆、2021 年度の著者を調整中 7. データベース分科会（担当：沼崎） 広報委員会、QA/QC 委員会と共同で、サマーセミナー、教育セミナー等の動画配信を行う E-learning システムの準備を開始

編集委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 長谷川 智之

委員 委員長◎	姉帯優介、荒木不次男、磯辺智範、兼松伸幸、河野良介、境 麻未、佐藤清香、杉本 聡、橋本成世、長谷川智之◎、松藤成弘、馬込大貴、蓑原伸一、森祐太郎、高橋 豊、納富昭弘、藤崎達也、山田崇裕、渡部浩司
今年度課題	1. 機関誌発行 2. 掲載記事の充実 3. RPT 誌 IF 獲得支援
委員会開催 履歴	2020 年 6 月 29 日 於：Zoom 出席 8 名 随時 メール会議
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 機関誌発行 (1) J-STAGE 電子版をメインとする体制は順調。 (2) 第 40 巻 1 号を 3 月末、2 号を 6 月末、3 号を 9 月末、4 号を 12 月末に発行済。 2. 掲載記事の充実（一部抜粋） (1) JSMP119 特集 シンポジウム関連解説 5 編（第 40 巻 1 号） (2) 委員会企画（兼任委員を設けて連携） ・教育委員会企画連載 重粒子線治療装置に関わる解説（第 40 巻 2 号～計 4 編） ・QAQC 委員会企画 骨転移 SBRT の QA に関わる解説（第 41 巻 1 号予定） ・計測委員会企画 新しい SI 単位系に関わる解説（第 41 巻 1 号予定） ・防護委員会企画 検討中 ・大会支援委員会企画 学術大会報告並びに大会に関わる特集号 (3) 投稿規定改定 依頼原稿の原稿料、筆頭著者の複数指定ほか 3. RPT 誌 IF 獲得支援 (1) IF 獲得支援を目的とした分科会を設立 (2) JSRT 誌との合同掲載企画によるレビュー論文紹介記事を再開 (3) JSRT 誌との合同掲載企画として新たな連載解説を開始予定（第 41 巻 1 号～） (4) 土井委員長による連載コラムを開始予定（第 41 巻 1 号～）

編集委員会（英語論文誌）

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 納富昭弘

委員 委員長◎ 副委員長○	編集委員長：◎土井邦雄（JSRT） 副編集委員長：○荒木不次男, ○兼松伸幸, ○長谷川智之（3名） 編集委員：有村秀孝, 遠藤 暁, 遠藤真広, 芳賀昭弘, 羽石秀昭, 林 直樹, 星 正治, 金澤光隆, 川村愼二, 小森雅孝, 国枝悦夫, 米内俊祐, 蓑原伸一, 森 愼一郎, 村山秀雄, 尾川浩一, 齋藤秀敏, 榮 武二, 菅 幹生, 隅田伊織, 渡部浩司, 山本 徹, 山本誠一, 歳藤利行, 山谷泰賀（25名） 担当理事・編集委員：納富昭弘
今年度課題	1. AFOMP オフィシャルジャーナルの論文賞の新規設置について検討を行う。 2. 優秀査読者賞の設置について、技術学会と交渉して実施の実現を検討する。 3. JSMP-JSRT 間の「英語論文学会誌の共同刊行に関する覚書」の変更について検討する。 4. RPT 誌の「優秀査読者賞選考基準」ならびに「RPT 誌査読の手引き」について検討する。 5. DE の交代(遠藤真広副編集委員長の退任)について検討する。 6. 2020 年度の土井賞、RPT 誌優秀査読者賞(Outstanding Reviewer Award)、MCA 賞(Most Citation Award) の選考を行う。 7. RPT 誌の Impact Factor 獲得のための対策を検討する。 8. IOMP の official publication 申請について検討する。
委員会開催 履歴	2020 年 8 月 29 日 RPT 誌編集全体会議（オンライン開催）参加 34 名 2020 年 10 月 10 日 両学会の意見交換会（オンライン開催）参加 14 名 2020 年 12 月 11 日 編集委員長・副編集委員長会議（オンライン開催）参加 11 名 メール審議 随時
総括 不足の場合は別 紙付加可	上記課題について検討し、以下の対応等が行われた。 1. AFOMP オフィシャルジャーナルの論文賞設置に参画し、受賞候補者を推薦した。2020 年度の第 1 回の受賞者は、JSMP 会員である齋藤正敏先生の RPT 誌掲載論文であった。 2. 技術学会でも優秀査読者の設置が認められ、JRC2021 から表彰を行うこととなった。 3. 「英語論文学会誌の共同刊行に関する覚書」の変更について、両学会の懇談会にて議論した結果、変更(第 8 項の改訂, 第 10 項の追加)が両学会で認められた。 4. 「優秀査読者賞選考基準」ならびに「RPT 誌査読の手引き」が制定された。 5. 遠藤真広副編集委員長が退任の意向を示され、後任として兼松伸幸編集委員が就任した。 6. 2020 年度の土井賞 3 名、RPT 誌優秀査読者賞(Outstanding Reviewer Award) 6 名、Most Citation Award (MCA) 3 名の受賞者が決定した。また、これに併せて、英語論文学会誌編集功労賞を遠藤真広元副編集委員長、村山秀雄元副編集委員長に贈呈することとなった。

	7. Impact Factor の獲得を目指し以下の対応を行っている。 ・会員の意識を高める為に RPT 誌掲載論文の被引用数リストを JSMP ホームページに掲載した。RPT 誌発行にあわせ、年 4 回程度の更新を予定している。 ・RPT 誌へのアクセスを容易にするために、Springer 社の SharedIt サービスを利用した JSRT の論文閲覧サイトに、JSMP ホームページのトップページからリンクを張った。これにより会員以外でも read only PDF が閲覧できるようになり、事実上のオープンアクセスとなった。 ・引用が見込まれるレビュー論文を増やすことを予定している。代議員のみなさまからも、幅広くレビュー論文執筆者の推薦をお願いしたい。 ・JSMP Web-site や JSMP Twitter を利用して、新しい掲載論文の紹介や、RPT 誌関連の各種受賞情報などの広報を活発に行っている。 ・査読者の査読の質を向上させるために、「RPT 誌査読の手引き」を作成した。 8. 現在、IOMP の official publication 申請手続きを進めている。
--	--

放射線防護委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 米内 俊祐

委員 委員長◎ 担当理事○ 顧問コ	米内 俊祐◎、小口 宏○、赤羽 恵一コ、磯辺 智範、大谷 浩樹、古場 裕介、想田 光、張 維珊、福士 政広、藤井 啓輔、藤本 隆広、松本 真之介、森 祐太郎、盛武 敬、川村慎二
今年度課題	1. 情報共有 放射線防護に関する情報を収集・共有する。 2. 広報活動 放射線防護に関する情報を発信する。 3. 対外協力 放射線防護に関わる他組織と協力し、医療放射線防護活動推進に寄与する。
委員会開催 履歴	7 月 18 日：Web 会議（参加者：8 名）、8 月 6 日：Web 会議（参加者：10 名） 適宜、メール会議
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. J-RIME 関連 ・「日本の診断参考レベル(2020 年版)」への協力 J-RIME の HP で公開（7 月 3 日） JSMP の HP にリンクを掲載。JSMP-hiroba での情報発信。 英語版（総論）「National Diagnostic Reference Levels in Japan (2020) - Japan DRLs 2020-」が J-RIME の HP で公開（7 月 31 日） 2. 医療用直線加速装置に関する放射化物廃棄状況調査研究 ・一次報告書案を公開（6 月 27 日） JASTRO の HP で公開。JSMP の HP にリンクを掲載。 ・Web 会議やメール会議により今後の計画について検討を継続している。 3. JSMP 第 120、121 回学術大会への協力（委員会企画等） 4. メーリングリスト、HP 等での情報共有

国際交流委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（西暦 2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 林 直樹

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	林 直樹◎、 有村秀孝、伊良皆拓、小澤修一、兼松伸幸、加茂前健、川村慎二、呼尚徳、高橋豊、武川英樹、中市徹、中山雅央、福田茂一、松浦妙子、松元佳嗣、水野裕一、門前一、八木雅史
今年度課題	1. 海外学会団体等との交流と共同事業推進、会員への情報共有 AFOMP, AAPM, IOMP などとの関係強化、IDMP 事業 2. 海外学会等への派遣事業に関すること KJMP と AOCMP2020 3. JSMP 学術大会での国際関連企画の支援 JSMP122 と JSMP123 の企画 4. その他の国際交流関連企画の後方支援
委員会開催 履歴	適宜メール会議を行った。 Zoom を用いたオンラインでの会議を行った。
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. IOMP や AFOMP のイベント情報を JSMP 会員へ展開した。 AFOMP council に参加をした。 AAPM-KSMP-JSMP との提携に関する会議を行った。 IDMP 企画を行った。 2. AOCMP2020 と JSMP120 の共同開催に向けて活動を行った。 KJMP congress の開催に向けての活動を行った。 3. JRC2021 での国際交流委員会企画を立案、講師との連絡を行った。 4. 2020 年度は国際会議のほとんどがオンライン開催であったため、会員派遣事業については実施していない。

QA/QC 委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2 (2020) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 中村 光宏

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	中村 光宏◎, 青山 裕一, 秋田 和彦, 秋野 祐一, 姉帯 優介, 五十野 優, 上田 悦弘, 太田 誠一, 大谷 侑輝, 岡本 裕之, 奥村 雅彦, 加藤 貴弘, 河原 大輔, 川守田 龍, 木藤 哲史, 熊崎 祐, 黒岡 将彦, 小玉 卓史, 兒玉 匠, 佐々木 浩二, 杉本 聡, 隅田 伊織, 高倉 亨, 武川 英樹, 辰巳 大作, 遠山 尚紀, 成田 雄一郎, 西尾 禎治, 西岡 史絵, 藤田 幸男, 松崎 有華, 宮浦 和徳, 宮部 結城, 棕本 宜学, 安井 啓祐
今年度課題	● 医学物理学研究や日常臨床の発展に資するアンケート調査 ● ガイドラインの策定及び査読 ● データベース構築の検討(教育委員会との連携) ● 他学会・団体の学術研究活動との連携(JASTRO・医用原子力技術研究振興財団など)
委員会開催 履歴	適宜メール会議
総括 不足の場合は別 紙付加可	● ガラス線量計 WG : 岡本, 青山, 太田, 遠山, 西尾, 水野, 安井, 峯村@国立がん研究センター がん対策情報センター, 橋本@都立駒込病院, 山下・高瀬・奥山@医用原子力技術研究振興財団 線量校正センターの先生方, 中路@QST 病院, 瀬下@千代田テクノ ● 目標 : ガイドライン化 ● 5 月末までに全章の原稿を集め編集を開始する。8 月頃にドラフト版が完成予定。 ● FFF アンケート : 兒玉, 高倉, 西岡, 宮浦, 安井 ● JRR に投稿。Minor revision であり, 再投稿済み。 ● 分離校正(ユーザーへの展開) : 佐々木, 秋野, 五十野, 奥村, 辰巳 ● WG 内で検討中 ● スクリプト WG : 武川, 河原, 宮部, 杉本, 藤田, 小玉, 棕本 ● 目標 : ガイドライン化 ● 各章の原稿編集中。3 月中に委員・オブザーバーにドラフトを配布し意見募集。 ● IMRT QA アンケート WG : 姉帯, 秋田, 上田, 大谷, 加藤, 川守田, 木藤, 熊崎, 黒岡, 隅田, 成田, 松崎 ● 目標 : 【IMRT 物理技術ガイドライン】の QA 部の改訂 ● 206 施設から回答有り (締切 : 2021 年 3 月 31 日), 解析中 ● 第三者出力線量評価機関認定制度準備委員会 (仮) へのキックオフ会議(2 月 9 日)

広報委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 角谷 倫之

委員会構成 委員長◎ 副委員長○	角谷倫之◎、石原佳知○、稲葉洋平、金井貴幸、久保 均、齋藤正英、千葉貴仁、張 維珊、津田啓介、中島祐二郎、藤田幸男、三輪建太、安井啓祐、山下幹子、脇田明尚
今年度課題	1. HP のリニューアル 2. Twitter の開始 3. 広報動画の作成 4. HP および Twitter の更新・管理 5. 用語集の作成 6. E-learning の準備
委員会開催 履歴	随時メールおよびオンライン会議（詳細は省略）
報告事項	1. 創文印刷工業に業務委託し HP を改訂し、9 月に公開した。 2. Twitter での SNS を使った広報を 6 月から開始した。 3. 広報動画を作成し、9 月に公開した。 4. HP および Twitter を定期的に更新した。 5. 用語委員会と連携し、新しい用語集を独自に word press を使って構築した。 6. 教育委員会、QA/QC 委員会と連携し、e-learning の準備を進めた(来年度開始を目指す)。
その他	特になし

用語委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 隅田 伊織

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	隅田 伊織◎、秋田和彦、阿部慎司、有村秀孝、上田悦弘、奥村雅彦、小田倫生、株木重人、木藤哲史、佐藤智春、高津淳、田ノ岡征雄、田村昌也、津藤真司、南部秀和、布施拓、馬込大貴、茂木佳菜、門前一、矢田隆一、山田幸子
今年度課題	1. 用語集の共同管理 2. JSMP 用語集の更新 3. 用語集ホームページの更新
委員会開催 履歴	2020 年 6 月 新委員会における作業項目を検討した。 2020 年 6-11 月 随時メール会議（用語委員会内、広報委員会と連携） （2021 年 2 月 第 2 回 JSRT・JSMP 懇談会）
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 用語集共同管理 ✓ JSRT、JSMP 両委員間で委員長を通してメール会議を行った。各用語集の重複用語について和訳・英訳の統一化を行う方向で進めることに決まった。 2. JSMP 用語集 ✓ 第 2 段階：大分類ごとの代表語と類義語の選別を行っている。 3. ホームページの更新 ✓ 広報委員会と連携し、用語集用レンタルサーバーの契約を行った。 ✓ 用語集用ドメイン名 db-jsmp.org を取得した。 ✓ Word press を利用した用語集ページへ移行した。

総務委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和元（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 水野秀之

委員 委員長◎	水野 秀之◎、福田 茂一、齋藤 秀敏、櫻井 良憲、岡本 裕之、乳井 嘉之、黒河 千恵
今年度課題	学会活動を円滑に行うため、以下の業務を行う。 1. 総会、理事会議案調整 2. 事業計画案、事業報告案の作成 3. 会員名簿管理 4. 定款・細則などの制定、改定に関する案文作成 5. 委員会活動の調整 6. 名誉会員の推薦 7. その他必要な業務
委員会開催 履歴	2020 年 6 月 5 日（出席 7 名）、9 月 11 日（出席 7 名）、11 月 26 日（出席 7 名） 2021 年 2 月 13 日（出席 7 名）、3 月 26 日（出席 7 名）他、頻回のメールによるやり取り
総括 不足の場合は 別紙付加可	1. 理事会議案調整（2020.4～で 7 回開催）、理事会メール審議対応 10 回（サマーセミナー延期、KJMP 延期、医療用直線加速装置に関する放射化物廃棄状況調査研究、HP 改訂業務の外部委託、コバルト線源更新の QST への要望書、編集委員会の分科会設置、研究課題援助継続、第 120 回学術大会の AOCMP 併催）、総会議案調整 2. 事業計画案、事業報告案の作成（各委員会の事業計画・予算のとりまとめ等） 3. 会員名簿管理（名誉会員（佐藤 英一先生、福士 政広先生）の推薦） 4. 公印取扱規則整備、選挙規程・慶弔に関する内規改定 5. 委員会編成・委嘱状発行 6. 公益法人化対応（内閣府への役員変更登記・事業報告・変更届等提出、立入検査対応、e-learning 実施に向けた変更届の検討、財務 3 基準を満たすための方策検討） 7. 寄付金の受付、令状・受領書発行、税金のダイレクト納付への移行等 8. 対外活動 ・関連団体への理事・委員等の派遣対応（IOMP、AFOMP、JBMP、JASTRO、品質管理機構、JRC、精中機構、RI 協会、JIRA、JARR、ANTM、QST、J-RIME） ・会長就任挨拶状送付、AFOMP、SEAFOMP、KSMP からの寄稿/アンケート依頼対応 ・AAPM 会長・KSMP 会長との懇談、PMDA からの医学物理士求人対応 ・セラノティックス放射線科学研究拠点構想協力依頼 9. 新型コロナウイルス対応（AFOMP の COVID-19 ガイドラインの和訳版作成、学術大会の AOCMP 併催、Zoom アカウント取得、ウェブ会議機器購入等） 10. その他各種調整業務等（医学物理教科書「医療放射線防護学」発刊に伴う国際文献との出版契約書の締結、外部倉庫預入資料確認、監事監査対応） 11. 掲載許可対応（株式会社テクノミック、福島中央テレビ、大阪重粒子センター）

倫理委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和2年度（2020年度）の活動につき、下記の通り報告いたします。

報告者氏名 齋藤秀敏

委員 委員長◎ 副委員長○	担当理事・委員長 齋藤秀敏 委 員 岡本裕之、片寄哲朗、唐澤久美子、辻角智之、深堀麻衣（五十音順）
今年度課題	1. 本会会員が行う学術研究発表における倫理に関する調査・検討・教育・啓発 ・学術大会実行委員会およびプログラム委員会との連携 ・編集委員会、RPT 誌編集委員会との連携 2. 倫理に関する申告を受けた案件についての調査・検討 ・倫理的および社会的観点からの調査・検討と理事会への報告 ・必要に応じて有識者から意見聴取 3. 必要に応じて倫理に関する細則についての調査・検討 4. 必要に応じて個人情報保護に関する細則についての調査・検討 5. その他
委員会開催 履歴	11月6日 JSMP2021 演題に関する検討（メール審議）
報告事項	1. 2020、2021 年度委員会構成を検討した。 2. 第 121 回学術大会プログラム委員会に出席し、登録演題に対する倫理審査を行った。疑義のあった 1 件について、非会員であっても、本会が開催する学術大会では倫理規程に則ることを確認した。 3. 倫理に関する案件の申告は 0 件であり、招集して行う委員会は開催しなかった。
その他	特記事項なし

大会支援委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 兼松 伸幸

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	兼松 伸幸◎、有村 秀孝、伊良皆 拓、小澤 修一、亀澤 秀美、川内野 友彦、川村 慎二、久米 恭、黒岡 将彦、齋藤 秀敏、櫻井 勇介、佐々木 誠、西尾 禎治、納富 昭弘、長谷川 智之、林 直樹、水野 秀之、蓑原 伸一、明上山 温、山本 徹、米内 俊祐、福田 茂一、石川 正純、中村 光宏
今年度課題	1. 大会長候補者の選考： 会長からの要請により候補者を選考して答申。（その後理事会決議を経て委嘱） 2. 標準的な方法の整備、個々の学術大会の準備を支援： 準備の工程管理、大会役員への助言、マニュアル化。 特別企画テーマの検討、演者・座長の推薦。 海外演者対応、倫理相談、広報や出版の支援。 企業広告、他団体からの協賛や後援の仲介、等。 3. 学術大会と他の常設委員会との連携の仲介： 委員会主催企画など連携の維持促進。 4. 必要な委員の追加
委員会開催 履歴	第 1 回 7 月 1 日 Zoom 出席 17 名、第 2 回 8 月 26 日 Zoom 出席 19 名、第 3 回 11 月 25 日 Zoom 出席 17 名、第 4 回 2 月 5 日 Zoom 出席 19 名
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 第 123 回大会長と第 125 回大会長を選考して結果を会長に答申。 2. 委員会内で各大会の状況報告と助言など情報交換を継続的に実施。 情報共有のための共有フォルダの整備（国際文献 Portal→Google Drive）。 大会運営に関する標準的な運用ルールを審議し、委員会資料として共有。 秋季大会開催マニュアルの管理と引き継ぎ（山本委員→久米委員→川村委員）。 3. 編集委員会と各大会の間で、大会開催報告と大会特集号の編集の連携促進。 倫理委員会と各大会の間で、研究発表の倫理審査における連携促進。 教育委員会、国際交流委員会、学際交流委員会、JSRT-JSMP 合同 RPT 誌編集委員会の JRC 大会内企画の定例化と他委員会の大会企画への参画を進めた。 4. 福田委員（第 120 回及び第 122 回大会長）、石川委員（第 123 回大会実行委員長）、中村委員（同大会プログラム委員長）を追加。 阿部慎司会員（第 125 回大会長）、藤崎達也会員（同大会実行委員長）、乳井嘉之会員（同大会プログラム委員長）から内諾取得。（理事会承認後に委員委嘱）

学際交流委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 山本 徹

委員 委員長◎	磯辺智範、小野 薫、角谷倫之、古徳 純一、眞正浄光、納富昭弘、林 直樹、福田茂一、 山本 徹◎
今年度課題	1. 交流活動 4. 表彰候補者推薦 2. 委員推薦 5. 研究課題援助 3. 後援 6. 科研費取得促進
委員会開催履歴	メール会議（9 回）
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 交流活動 (1) 日本放射線技術学会：懇談会開催（9 月 8 日、2 月 2 日 web 会議） (2) 日本生体医工学会：JSMP121 シンポジウム「臨床ニーズと研究シーズの融合」企画 (3) 「日本学術会議のよりよい役割発揮に向けて」に関するアンケート回答 2. 委員推薦 (1) JASTRO：MRI 画像誘導（即時）適応放射線治療ガイドライン作成委員 (2) 日本加速器学会：Accelerator and Medical Physics 執筆候補者 (3) 放医研：重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会委員 (4) 日本アイソトープ協会：第 58 回アイソトープ・放射線研究会運営委員 3. 後援 ・第 58 回アイソトープ・放射線研究会 協賛 ・第 40 回日本医用画像工学会大会 協賛 4. 表彰候補者推薦 (1) 学会推薦 ・日本学術振興会 育志賞：JSMP 推薦者は非受賞 日本学術振興会賞：1 名推薦 ・文部科学省：科学技術賞、若手科学者賞、研究支援賞（候補者なし） (2) 表彰情報の広報 ・日本アイソトープ協会奨励賞 5. 研究課題援助 (1) 継続課題を承認：「深層学習を用いた治療用 cone-beam CT 画像における画質の改善と被ばくの低減」安達勇人 氏（金沢大学附属病院） (2) 研究課題援助に関する細則改定 6. 科研費取得促進 科研費に係る意見回答：会長名で回答するとともに会員の回答を促した。

医学物理士委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 2（西暦 2020）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 西尾 禎治

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	西尾禎治◎ 石川正純、宇都宮悟、亀澤秀美、黒岡将彦、黒河千恵、小泉雅彦、高田健太、武川英樹、津田啓介、恒田雅人、遠山尚紀、中村哲志、中村光宏、西岡史絵、芳賀昭弘
今年度課題	1. 本委員会のミッションについて検討し、立案する。 2. 本学会自体のあり方を考慮しながら、医学物理士の将来像について考える。 3. JCMP、JBMP との有機的な連携体制を構築する。
委員会開催 履歴	Zoom 会議 適宜メール会議 適宜 Google ドキュメント、スプレッドシート利用による討論
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 本委員会が実施するミッションについて検討した。 2. JSMP が目指す医学物理士の将来像を示す図案を作成した。 3. 「日本医学物理学会が考える医学物理学・医学物理士について（2020 年版）」の平成 21 年版からの改訂作業を行った。改訂作業のコアメンバーをアサインすることで実施し、「日本医学物理学会が医学物理士に期待すること（案）」を作成した。 4. 本委員会で作成した案をベースに、関連団体である JCMP、JBMP と情報共有及び意見交換による作業実施を行うための調整を図った。

